



東雲小学校の特別支援学級とは？

附属東雲小学校には単式学級(通常の32人学級)、複式学級(2学年16人が一緒に学ぶ学級)、そして特別支援学級があります。特別支援学級は昭和36年に開設された知的障害の子どもの学級です。

どんな勉強をしているの？

東雲小学校の特別支援学級は知的障害の子どもの学級です。国語や算数、音楽や図工などの教科の学習以外に、生活単元学習や遊びの指導などの各教科などを合わせた指導、自立活動などの領域別の指導を行っています。また、知識や技能を身につけることだけが目的ではなく、つけた力が生活の中で活用できる「生活力のある児童」の育成をめざした学習や活動を行っています。



どのように学習しているの？

東雲小学校の特別支援学級は低学年(1・2年生)、中学年(3・4年生)、高学年(5・6年生)の3クラスで構成されています。1日に1時間は必ず全体(1～6年生)の授業があり、お互いにかかわり合いながら学習を進めていきます。その中で上の学年の児童が下の学年を気にかけてたり、下の学年の児童が上の学年の児童をモデルにしたりしています。それぞれのクラスでも個別の指導(1時間先生と児童が1対1で学習すること)は行いません。クラスの集団の中でもかかわり合いながらそれぞれの目標や課題に向かって一緒に学習を進めていきます。単式学級や複式学級での教科での交流は行っていないので、1時間目から帰るまで特別支援学級で生活します。

通常の学級との交流はないの？

東雲小学校では通常の学級との教科での交流は行っていません。しかし、それ以外の学校生活の場面では、縦割り班による活動、学年活動、クラブ・委員会活動、学年行事、学校行事などで多く交流の場を設けています。また、校内では同学年を4学級(単式学級1・2組、複式学級、特別支援学級)というくくりで捉えるようにし、行事や取り組みを通じて同学年の児童が自然にお互いを意識できるようにしています。さらに、隣接する附属東雲中学校の特別支援学級とも日常的な交流があり、小学生が中学生の姿を身近に見ることで、自分の少し先のイメージをもつことができます。

登下校はどうしたらいいの？

東雲小学校は児童による自力登下校が原則になっています。自分の力で徒歩、あるいは公共交通機関を利用して登下校します。しかし、特別支援学級の児童は最初から自力登下校をすることは大変難しい状況があります。そこで、まずは教室まで保護者の方に送り迎えをして頂きながら、少しずつ自分で行き帰りできる距離を伸ばしていくようにします。安全を確認しながら道の歩き方、乗り物への乗り方、家までの帰り方を少しずつ自分の力でできるようにしていきます。お住まいの場所や登下校方法の違いもありますので一律に「〇年生までにできるように」ということはなく、そのお子さまの実態や下校の状況に合わせて少しでも距離を伸ばしていくことを目的としています。保護者の方のご協力が不可欠な取り組みです。もちろん、ケガや病気など特別な理由があるときには自家用車の送り迎えを認めています。6年間自力登下校の取り組みでつけた力や自信は、子どもたちのよりよい成長につながっています。



もうちょっと詳しく知るためには？

東雲小学校特別支援学級では見学を随時受け付けています。学校行事などで難しい日もありますが、まずはご連絡頂いて日程をご相談ください。

(082)-890-5120 (特別支援学級直通) までご連絡ください。長期の休みを除きいつでも受け付けています。

入学を希望したいのですが？

入学希望者へは入学調査を行っております。毎年10月1日に本校事務室にて募集要項をお配りしています。入学調査は12月に行っています。(願書を提出するまでにまずは見学されることをおすすめいたします)さらに願書提出にあたって一度お子様とご来校して頂いて教育相談を受けて頂くことになっています。募集要項をよくお読みになり、手続きを進めてください。

途中からでも入れるの？

東雲小学校特別支援学級では、第3学年までの児童につきましては編入を受け付けています。ご希望がある場合はまずは(082)-890-5120 (特別支援学級直通) までご連絡ください。

